

危険を安全に体験する 新たなシミュレーター開発

交通安全教育は、「気づき」がその第一歩であると考えています。

危険を擬似体験することで、気づきを促し、危険予測能力を高めることにつながります。

Hondaのシミュレーターは、「危険を安全に体験する」ことを基本にしています。

体験して危険場面を知ること、自らの行動につなげてほしいからです。

生涯教育を実践する教育ツールとして、安全な交通社会の実現に貢献していきます。



シミュレーターの開発と可能性の拡大

Hondaは、1970年より培ってきた安全運転普及活動のノウハウを活かし、実際の交通状況を想定した体験型の教育機器の一つとして、シミュレーターを開発してきました。実車での参加体験型実践教育に加え、シミュレーターによる混合交通場面で遭遇しやすい危険を安全に体験することで、安全運転教育の効果を高めることができると考えています。昨年にはさらに進化した「Hondaライディングシミュレーター」も誕生。現在は、社会のニーズに応える「環境」や「自転車」などの新しいシミュレーターを開発しています。



昨年発表されたHondaライディングシミュレーター



Hondaライビングシミュレーター

環境と安全を意識した運転を学ぶ「Hondaセーフティナビ」

今年5月に発売した「Hondaセーフティナビ」は、Hondaのシミュレーター技術を最大限に活用し、より多くの方にご利用いただくことをめざして開発されました。安全運転とエコドライブの共通点に着目し、従来のドライビングシミュレーター技術に環境に優しい運転のポイントを加えています。イベント会場や販売会社の店頭では、気軽に楽しく学べる点が評価され、体験した方からは「今まで知らなかったエコドライブの知識を学べ、とても有意義だった」「右左折の際に注意すべきことを再確認できた」といった声もいただきました。

2010年3月には「Hondaドライビングシミュレーター」のフルモデルチェンジを予定しています。これまで以上に教育現場で使いやすく、効果的な次世代シミュレーターの開発を進めています。



販売会社でのセーフティナビ体験。安全運転とエコドライブが学べる（Honda Cars神戸）



Hondaセーフティナビ



画面でエコドライブのポイントをアドバイス

シミュレーターの新ラインナップ「Honda自転車シミュレーター」

近年、10代や50代以上の方の自転車事故が増加傾向にあります。その原因の約7割は交通ルールの違反です。今年10月に発表した「Honda自転車シミュレーター」は、自転車を運転する際に起こりうる危険を安全に体験することで、危険予測能力や安全意識の向上を図り、交通ルールとマナーを楽しく学ぶことができる教育機器です。2007年から全国各地の小・中・高等学校や高齢者の自転車教育の場などで試用していただいていたが、今後は来年2月の発売を契機に交通安全教育の場への普及を拡大していきます。



自転車シミュレーターを使った高校生対象の自転車交通安全教室。画面の様子を大きくモニターに映し出すことも可能なため集合教育にも適している（八戸モータースクール）



Honda自転車シミュレーター